

EXPO2025 大阪・関西万博の感動を、県庁で。

「EXPO LEGACY TOKUSHIMA 感謝展」開催中！

〔場所〕徳島県庁1階 玄関ホール・県民ホール 〔展示期間〕2026年3月31日（火）まで

※開庁時間：8:30から18:15まで（土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く）

県庁1階にて開催中の「EXPO LEGACY TOKUSHIMA 感謝展」では、「水とおどる」をテーマにした

徳島県ゾーンの一部を再現！阿波和紙や阿波藍、阿波指物などによる作品や、世界との交流の足跡を感じられる展示コーナーなど、万博で生まれた感動と興奮がよみがえります。

〔問〕県万博推進課 ☎088-621-2130 ㊟088-621-2851



「大阪・関西万博」
徳島県公式サイト



TOKUSHIMA
OSAKA, KANSAI
EXPO2025

●めぐるパネル

来場者が徳島の人やモノと出会うきっかけとなり、新しい「めぐり」が生まれることを願い、「めぐるパネル」を制作しました。徳島で親しまれている「襖からくり」から着想を得てデザインしています。素材として、県民の皆様が染めた藍染めの布を使用し、徳島県ゾーン未来エリアに展示されていました。



●「徳島への声」展示

徳島県ゾーンの来場者から寄せられた感想やメッセージを集めた展示。徳島の魅力や接客の心に触れた“生の声”を通して、184日間の交流の景色を振り返ります。

●サステナブルテーブル

徳島県ゾーン未来エリアに展示。ペットボトルを3Dプリンターによりアップサイクルしました。

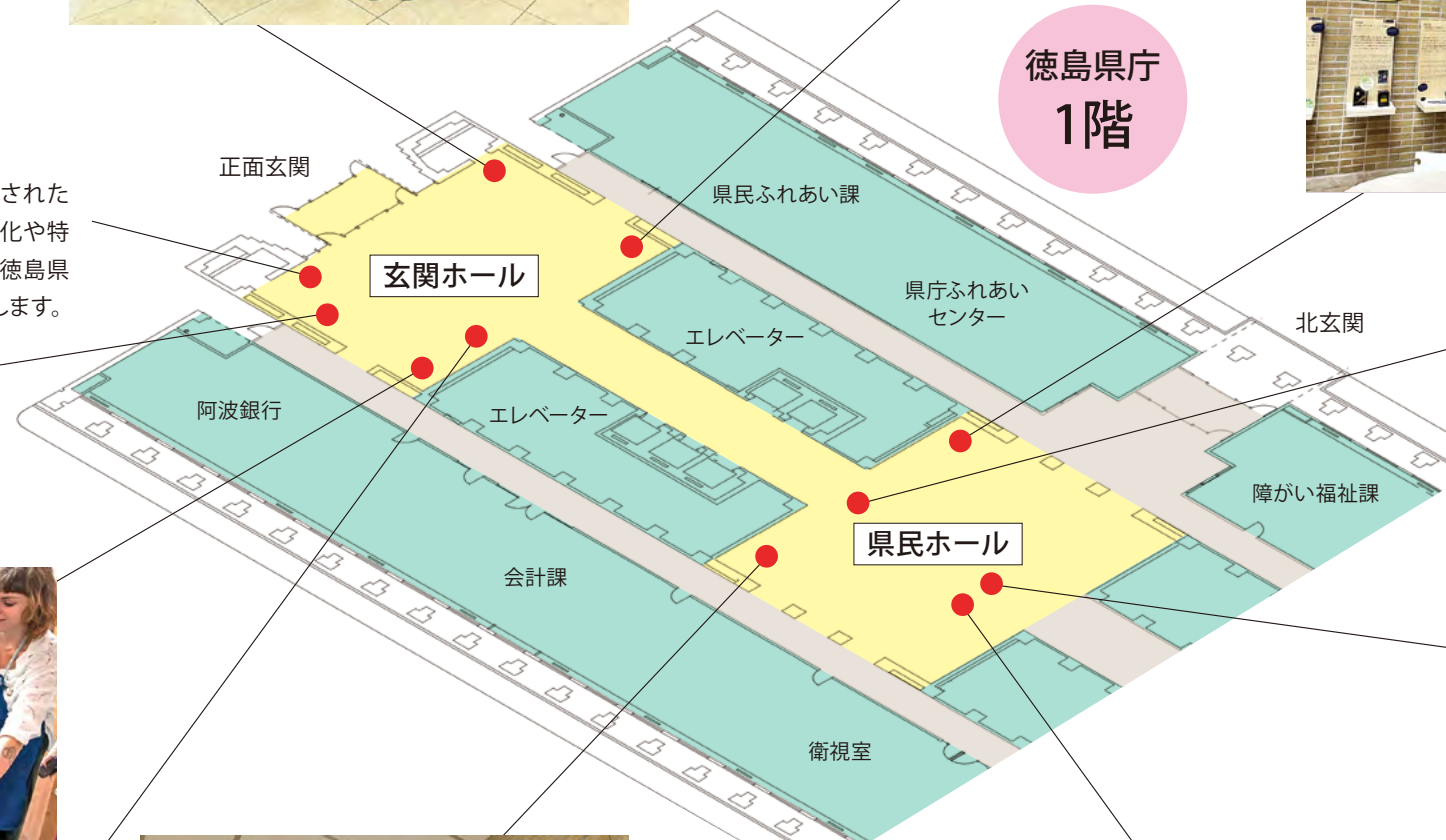
●インフォメーションテーブル

徳島県ゾーンの物販・インフォメーションテーブル。紙のように薄くスライスした木の「ツキ板」で天板を仕上げ、側面を沈殿藍を使った「藍コンクリート」で仕上げています。



●徳島県ゾーンのアーカイブ展示

徳島県ゾーンの展示内容や記録、実際に使用された什器などをまとめたアーカイブ展示。徳島の文化や特産物、未来をテーマにしたコンテンツを通じて徳島県ゾーンの184日間の軌跡をレガシーとして共有します。



●国際交流展示

藍染め体験や阿波おどりを通じて生まれた万博参加国との交流を紹介する展示。徳島の文化や伝統の技が、国境や言葉の壁を越えて世界の人々の心を掴んだ光景は、これまでの徳島県の歩みが揺るぎないものであることを示しました。



●藍染め体験の紹介

徳島県ゾーンの「藍染め体験」で使用された桶などを展示。藍染め体験では「染める」「洗う」「結ぶ」という3つの所作を通して、徳島の文化に触れていただきました。



●藍染めタペストリー

万博での徳島県の取組を月ごとに紹介する藍染めタペストリーと写真を掲示しています。

●指物テーブル

徳島県ゾーン伝統エリアに展示。製作者である阿波指物師・富永啓司氏は、阿波水軍の船大工を務めてきた家系として、かつて船の底板に使われていた黒杉を用いることで、自分たちのルーツを再び表現。万博を通じてこの伝統を復活させたいという願いも込められています。



●徳島県ゾーンの期間展示

●徳島県ゾーンの藍染め壁紙

徳島県ゾーンの壁紙には、47色の藍染めを施した阿波和紙が使用されました。かつて藍の染料である染（すくも）が全国各地と繋がり流通していた徳島の歴史と、万博の意義を重ねて壁紙という形で表現しています。



●指物四方転び

日本古来の指物技術である「浮造り（うづくり）」を用いて、腰板の表面を引き締める加工を施しています。また、無数の升目が施された意匠は「百目」をイメージしており、多くの目が見守ってくれているという縁起の良さを表しています。



●藍の環（あいのわ）－Ai-no-wa－

万博会場内で藍染め体験をするという取組に挑戦し続けた184日間。来場者は様々な思いを込め、染め上げた糸を奉納という形でゾーン内の織機に結びました。奉納された糸は集まり、徳島を象徴する“渦潮”の形をつくり出し、新たなオブジェとして1つの環（わ）になりました。徳島県ゾーンの熱気と躍動感を動的に表しつつもジャパンプルーの荘厳な静の世界観も同時に表現しています。



●指物パネル

製作者である阿波指物師・富永啓司氏は、木が美しく曲がる様を活かした指物ならではの技術を用い、水の流れを表現しています。左から右へと流れる龍は、伝統を築いてきた人々の象徴。右から流れる3本の線は鳳凰を表し、未来を象徴しています。作品は新旧の融合と徳島の底力を示しています。

●「ドイツパビリオン」ソファ

ドイツパビリオンとは、長年にわたるドイツと徳島県の自治体間との交流を礎に、パビリオンの視察や、阿波おどり・藍染めなどを通して、双方の理解を深めました。交流を重ねた証として、ソファを寄贈いただけることとなりました。



クイズ&プレゼント

県庁1階で開催中の「EXPO LEGACY TOKUSHIMA 感謝展」の展示期間は2026年〇月31日まで。
〇に入る文字は何でしょうか。

●プレゼント
五稜箸木頭朱杉 本藍染 一膳

五稜箸木頭朱杉は徳島の「本藍染」を施した逸品。一本一本丁寧に染め上げた、本物の藍染の美しいグラデーションをお楽しみください。長さ:22.5cm(男女兼用、大人向け)

●応募締切 1月9日(金)必着 11月号の正解は「津波」でした。

●応募方法 答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき(宛先は「県知事戦略局クイズ&プレゼント係」)、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューからご応募ください。

抽選で5名様

※プレゼントは写真の右側の一膳のみです。



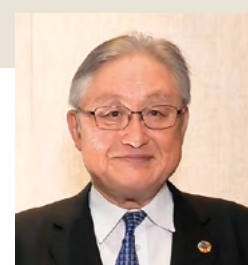
応募はこちら

ふるさと徳島へ ―県人からのメッセージ―

世界とつながる徳島に磨きを

東京徳島県人会 会長
株式会社日立製作所 取締役会長 代表執行役
徳島県小松島市出身 徳島大学卒業

東原 敏昭さん



徳島の魅力は「豊かな自然」と「息づく伝統・文化」にあると思います。ふるさとを離れて48年になりますが、改めてその良さが多くの方々へ伝わり、観光客の皆さんに喜ばれていることを実感しています。

昨年度、徳島阿波おどり空港と韓国・仁川国際空港を結ぶ直行便が就航しました。韓

国は、日本への入国者数が増える国です。韓国の皆さんに日本の文化、そして徳島の文化をより深く知っていただける機会となることを願っています。

今後も、徳島が「観光県」としてさらに発展していくことを期待しています。

伝統工芸で迎える 石川と徳島のお正月

徳島県と石川県の連携協定締結を記念し、両県の素晴らしい伝統工芸品を一堂に集めた特別な展示・販売会を開催します！

●日時:1月2日(土) ①10:00～②11:30～③14:00～
●会場:徳島県物産観光交流プラザ(あてよ徳島)

■加賀友禅で彩る絵付け体験

石川県の伝統工芸品である「加賀友禅」の絵付け体験をしませんか。絵付け体験をし、お皿として仕上げて郵送します。

●日時:1月24日(土) ①10:00～②11:30～③14:00～
(全4回・各回定員5名) ※先着順 ●会場:同上
●費用:6,500円(材料費込み) ●講師:加賀友禅 久恒先生
●予約:メールまたはファックス ※締切1月16日(金)

〔問〕県経済産業政策課 ☎088-621-2320 ㊟088-621-2897



※写真はイメージです。

「あすたむらんど」へのご意見募集中！

「徳島県立あすたむらんど」は、平成13年の開設以来、ファミリー層を中心にこれまで1,000万人を超える多くの方にご利用いただいております。人口減少や少子化、レジャーの多様化などの社会情勢の変化に対応し、これからも徳島県の「にぎわい交流拠点」として、施設の更なる魅力化を図るため、今後のあすたむらんどのあり方について、皆様のご意見をお聞かせください。

●実施期間:1月4日(日)まで
●回答方法:右の二次元コードからアンケートページへお進みください。
●所要時間:3～5分程度

〔問〕県にぎわい政策課 ☎088-621-2148 ㊟088-621-2837

